

国際宇宙ステーションとのスクールコンタクトについて

国際宇宙ステーションとは、約400kmの地球周回軌道上に建設される、恒久的多目的な有人施設であり、国際宇宙ステーションの建設は、日本、アメリカ、ロシア、欧州、カナダの世界15か国により進められています。

国際宇宙ステーションとのスクールコンタクトは、アマチュア無線を通じた国際宇宙ステーションとの交信により、“未知なる広大な宇宙”を広く青少年に体験してもらう機会を設けることで、青少年と国際宇宙ステーションの宇宙飛行士との交流と科学技術の啓発に役立てることを目的として行われているものです。

スクールコンタクトを行うためには、電波法に基づいて アマチュア局（団体の局）の免許及び アマチュア無線従事者免許が必要で、かつアリス（ARIS）から予定日時等の割当ての同意を得ていることが必要です。

また、無線従事者資格を有していない小中学生（義務教育就学年齢の者）にアマチュア局の操作を行わせることができる特別のアマチュア局（団体の局）の免許を受けるためには、さらに、教育委員会教育等（ ）が教育に資するものとして、自ら主催すること又は後援、推薦等をしていることが必要です。

都道府県又は市区町村教育委員会。都道府県知事、市町村長等も場合により可。

このスクールコンタクトを行う団体には、アマチュア無線の操作には無線従事者資格が必要なことから、学校等のアマチュア無線クラブや、地域のアマチュア無線団体（クラブ）が考えられます。

しかし、教育委員会等から推薦を受ける等の条件を満たせば、特別のアマチュア局として、無線従事者資格を有しない小中学生も通信に参加できることから、その場合には、プロジェクト的にアマチュア無線をされている方の協力を受けて、小中学校、児童館や科学館等や地域のボランティア団体において実施がなされると考えております。

各教育委員会等におかれましては、地域の団体等から推薦等の依頼がありました場合は、趣旨に基づき教育目的で行われるものである場合には、推薦等をよろしくお願いいたします。なお、ご不明な点は、お近くの総合通信局（別添問い合わせ先）にご相談いただきますようお願いいたします。